

令和6年度 事後評価シート

【事務事業シート】

1	当初	事項	松山空港国内線利用促進事業費								予算主管課	観光国際課
	事業概要	松山空港国内線の路線網の充実を図るため、官民一体となった取組みを展開する。									始期	1991
											終期	
	K P I	松山空港国内線利用者数										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度			R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
		R 4 年度		目標値	286 万人	目標値	273 万人	目標値	275 万人	目標値	277 万人	
		実績値	220 万人	実績値	266 万人	実績値	274 万人	実績値	万人	実績値	万人	
		ストック/フロー	フロー	達成率	93 %	達成率	100.4 %	達成率	%	達成率	%	
		コスト		最終現計 予算額	3,010 千円	最終現計 予算額	7,323 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
	6 年 度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括</p>									
見直し方向性		維持	6 年度の KPI の実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、7 年度以降も現状を踏まえると、KPI は目標達成できると考えていることから、7 度の執行方法や 8 年度予算の見直しは想定していない。									
2	当初	事項	松山空港国内線活性化支援事業費								予算主管課	観光国際課
	事業概要	松山空港国内線の活性化を図るため、本県の認知度向上や路線の需要喚起、エアポートセールス等により、運休中の路線再開や新規路線誘致に取り組む。									始期	2022
											終期	2026
	K P I	松山空港に就航する国内線路線数										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度			R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
		R 4 年度		目標値	7 路線	目標値	8 路線	目標値	8 路線	目標値	8 路線	
		実績値	7 路線	実績値	7 路線	実績値	7 路線	実績値	路線	実績値	路線	
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	87.5 %	達成率	%	達成率	%	
		コスト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	10,972 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
	6 年 度	要因分析	<p>要因</p> <p>札幌線や仙台線の再開に向けて認知度向上や需要創出のためのプロモーションを実施し、乗継による需要の創出には繋がったものの直便就航、路線拡充には繋がらなかった。</p> <p>総括</p>									
見直し方向性		維持	令和7年度はエアポートセールスディレクターの人員費を廃止し、必要経費を精査の上、運航再開・新規就航の可能性がより高いところへ注力し、戦略的に路線ネットワークを拡充していくこととしている。									

3	当初	事項	物産観光情報発信拠点運営事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	えひめ愛顔の観光物産館の維持管理等を行う。								始期	2012		
										終期			
	K P I	「えひめ愛顔の観光物産館」の購入者数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	86000 人	目標値	113000 人	目標値	117000 人	目標値	121000 人		
		実績値	94319 人	実績値	109118 人	実績値	97897 人	実績値	人	実績値	人		
		ストック/フロー	フロー	達成率	126.88 %	達成率	86.6 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	8,231 千円	最終現計	予算額	8,231 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	8,099 千円	決算額	8,099 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6 年度	要因分析	<p>要因 物価高騰等の影響で目標値未達かつ、前年度比においてもマイナスになったが、売上額では前年対比でプラスとなっている。</p> <p>総括</p>											
	見直し方向性	維持	R6年度のKPI実績はほぼ想定どおりの成果がでており、R7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから執行方法や予算の見直しは想定していない。										

4	当初	事項	観光連携推進事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	広域DMO及び関係団体との緊密な連携を図り、四国や瀬戸内一体となった面的な誘客による世界的な認知度向上とブランド化を進め、本県の認知度向上及び誘客促進に取り組む。								始期	1988		
										終期			
	K P I	四国 4 県の延べ宿泊者数											
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 1 年 度	目標値	1360 万人	目標値	1500 万人	目標値	1550 万人	目標値	1600 万人		
		実績値	1450 万人	実績値	1450 万人	実績値	1458 万人	実績値	万人	実績値	万人		
		ストック/フロー	フロー	達成率	106.6 %	達成率	97.2 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	64,280 千円	最終現計	予算額	64,646 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	64,280 千円	決算額	63,697 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6 年度	要因分析	<p>要因 広域DMO等との連携により、ほぼ目標値に近い誘客を図れた。</p> <p>総括</p>											
	見直し方向性	維持	県内の大型イベント開催があり、更なる県内への宿泊者数が増加すると考えられるため、見直しは想定していない。										

5	当初	事項	観光振興事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	第3期県観光振興基本計画に基づき、観光振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、目標達成に向けた検討を行うとともに、「愛媛・伊予観光大使（いよかん大使）」の設置・運営や、県内へのロケ誘致等による観光振興を推進する。							始期	2001			
									終期				
	K P I	観光振興施策の検証結果を踏まえて事業内容の見直しを行った事項数											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	2 事項	目標値	3 事項	目標値	3 事項	目標値	3 事項		
		実績値	- 事項	実績値	2 事項	実績値	3 事項	実績値	事項	実績値	事項		
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	16,222 千円	最終現計	予算額	14,266 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	15,715 千円	決算額	13,278 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因											
		総括											
	見直し方向性	維持	R6年度のKPI実績はほぼ想定どおりの成果がでており、R7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから執行方法や予算の見直しは想定していない。										

6	当初	事項	観光DX推進事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	効果的かつ効率的な観光プロモーションを展開するため、旅行者の動態データや検索履歴、WEBサイト閲覧履歴データを集約・分析できる基盤を構築し、分析結果に基づいた広告配信と効果検証を行うとともに、課題を抽出して戦略的な施策展開に活用する。							始期	2022			
									終期	2024			
	K P I	県事業における観光分析データの活用件数											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	30 件	目標値	30 件	目標値	30 件	目標値	30 件		
		実績値	0 件	実績値	7 件	実績値	13 件	実績値	件	実績値	件		
		ストック/フロー	フロー	達成率	23.33 %	達成率	43.3 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	32,333 千円	最終現計	予算額	37,327 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	32,330 千円	決算額	37,180 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因 令和6年度は、アカウント数を増やしたものの、データ活用した関係部署が少なかったため、目標を達成することができなかったが、愛媛観光DMPを構築して3年目を迎え、庁内各課の認知・活用は着実に向上していきと考える。											
		総括 事業開始から3年を経て、着実に利用件数の増加が見られた。R7年度は事業を変え、講習会や周知を増やし更に支援を強化していく。											
	見直し方向性												

7	当初	事項	愛媛DMO活動事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	競争力の高い魅力ある観光地域づくりを推進するため、県観光物産協会を核に設立した愛媛DMOにおいて、関係機関との連携のもと、国内外での誘客活動を強力に推進し、地域が儲かる観光の確立を目指す。								始期	2011		
										終期	2025		
	KPI	県観光振興関与額											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度			
			R 4 年度	目標値	4 億円	目標値	5.5 億円	目標値	7 億円	目標値	億円		
		実績値	6 億円	実績値	6 億円	実績値	億円	実績値	億円	実績値	億円		
		ストック/フロー	フロー	達成率	150 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	72,688 千円	最終現計	予算額	85,071 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	69,299 千円	決算額	80,923 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6年度	要因分析	<p>要因 R7年9月頃確定予定</p> <p>総括</p>											
		見直し方向性	維持	引き続き旅行商品の造成や県産品の販売を維持していく。									

8	当初	事項	観光集客力向上支援事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	観光関係団体や民間事業者自らが行う地域資源を活用した持続的な観光客の増加に寄与する新たな取組みに対して補助する。								始期	2011		
										終期			
	KPI	事業により集客数が向上した事業割合											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度			
			R 4 年度	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
		実績値	78 %	実績値	91.3 %	実績値	83.3 %	実績値	%	実績値	%		
		ストック/フロー	フロー	達成率	91.3 %	達成率	83.3 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	20,075 千円	最終現計	予算額	47,166 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	19,060 千円	決算額	38,010 千円	決算額	千円	決算額	千円			
6年度	要因分析	<p>要因 令和6年度に採択した事業のうち、宿泊業の開始が翌年度になったため達成率が下がったと考える。今後は、同施設の開業等により集客が増加すると見込んでいる。</p> <p>総括</p>											
		見直し方向性	維持	民間企業者等は、地域資源を活用し、魅力向上や国内外の誘客につながる取組みを行なっていくと考えられるため、KPI目標値は、現状維持で進めていく。									

9	当初	事項	総合観光プロモーション推進事業費							予算主管課	観光国際課
	事業概要		「疲れたら、愛媛。」を引き続き活用するほか、県内コンテンツの育成・発掘・利用促進、周遊促進や宿泊旅行促進の仕組みづくり、旅行者データを活用した効果的な情報発信を総合的に展開し、観光客数の増加を図る。							始期	2022
										終期	2027
	K P I	新たに造成した宿泊プランの年間利用者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	40578 人泊	目標値	43078 人泊	目標値	45578 人泊	目標値	48078 人泊
		実績値	38078 人泊	実績値	47850 人泊	実績値	73987 人泊	実績値	人泊	実績値	人泊
		ストック/フロー	フロー	達成率	117.9 %	達成率	171.8 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	64,686 千円	最終現計 予算額	66,449 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	64,535 千円	決算額	65,840 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因									
		総括									
	見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は目標以上の成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえるとKPIは達成すると考えられることから基本的な事業内容の変更はしないものの、万博を契機とした観光誘客プロモーションの強化を図るため、7年度は「オンライン旅行会社を活用した宿泊旅行の促進事業」は別事業に切り分け、7年度の当事業のKPIは旅行先としての認知度向上に資するKPIとして、Instagramのフォロワー数を設定することとしている。								

10	当初	事項	歴史文化資源魅力発信強化事業費（東予）							予算主管課	観光国際課
	事業概要		東予地域の歴史文化資源の魅力を発信し、シビックプライドを醸成することにより、交流人口の拡大や地域活性化につなげる。							始期	2022
										終期	2024
	K P I	東予地域の歴史文化資源活用イベントの参加者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	500 人	目標値	1000 人	目標値	0 人	目標値	0 人
		実績値	287 人	実績値	706 人	実績値	1174 人	実績値	人	実績値	人
		ストック/フロー	フロー	達成率	141.2 %	達成率	117.4 %	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計 予算額	1,250 千円	最終現計 予算額	1,614 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円	
			決算額	1,250 千円	決算額	1,581 千円	決算額	千円	決算額	千円	
6 年度	要因分析	要因									
		総括 イベント参加者数について、6年度は7校の高校（5年度は5校）に参加いただくとともに、6年度には高校生と地元企業の若手社員によるワークショップや歴史文化遊学ツアーを実施し、参加者数の増加を図ったところ、KPIの目標値を達成し、高校生のシビックプライドの醸成を促進することができた。今後は、同事業の成果を引き継ぎ、人口減少対策に重点を置いた「若者活躍促進事業」を令和7年度から新たに実施し、シビックプライドの醸成と定住・帰郷志向の向上を図っていく。									
	見直し方向性										

11	当初	事項	在住外国人向け石鎚エリア観光促進事業費（東予）							予算主管課	観光国際課
	事業概要	石鎚エリアの強みである「自然」「歴史」「文化」と親和性が高い「在住外国人」をターゲットにエリアの魅力を発信し、観光による交流人口の拡大を図る。								始期	2023
										終期	2024
	KPI	石鎚エリアを旅行した在住外国人数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	800 人	目標値	2000 人	目標値	0 人	目標値	0 人
		実績値	532 人	実績値	857 人	実績値	2767 人	実績値	人	実績値	人
		ストック/フロー	ストック	達成率	107.13 %	達成率	138.4 %	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計 予算額	1,500 千円	最終現計 予算額	2,200 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
			最終現計 決算額	1,489 千円	最終現計 決算額	2,195 千円	最終現計 決算額	千円	最終現計 決算額	千円	
	6 年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括 在住外国人のニーズを踏まえた石鎚エリアの魅力発信に努め、6年度KPI目標値を達成することができた。7年度からの新事業では、本事業で得られた成果も踏まえながら、「東予外国人材地域リーダー」を養成し、外国人材の確保・定着の促進を図ることとしたい。</p>								
見直し方向性											

12	当初	事項	東京ガールズコレクション地方創生プロジェクト推進事業費							予算主管課	観光国際課
	事業概要	「東京ガールズコレクション地方創生プロジェクト」を推進し、インフルエンサー等が本県の「食」「特産品」「自然」「文化」等を発信することで、トレンドに敏感で観光消費額が高い若い女性を誘致し、県内交流人口の拡大、地域経済の活性化を目指す。								始期	2024
										終期	2024
	KPI	本事業によるTGC総体感人数【会場来場者数+配信視聴者数】（前回同規模イベントを上回る人数を目指す）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度	
			R 4 年度	目標値	0 人	目標値	580000 人	目標値	0 人	目標値	0 人
		実績値	- 人	実績値	人	実績値	850000 人	実績値	人	実績値	人
		ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	146.6 %	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	30,000 千円	最終現計 予算額	千円	最終現計 予算額	千円
			最終現計 決算額	千円	最終現計 決算額	30,000 千円	最終現計 決算額	千円	最終現計 決算額	千円	
	6 年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括 TGC出演のインフルエンサー等を用いた本県の観光地や特産品のPRを展開し特に若年層への認知度向上に繋げた。また、県内学生の学生と有名アーティストのコラボ企画等も展開することで、若年層へのシビックプライドの醸成にも繋がった。</p>								
見直し方向性											

13	当初	事項	南予観光振興誘客・送客キャンペーン準備費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要		南予地域ではこれまで4回の大型観光振興イベントを開催し南予の魅力を生かしたコンテンツが充実してきており、これらの売り込みや事業者の積極性などを継続的に支援するため、これまでの実績を飛躍させる誘客・送客キャンペーンを2年に1度の周年で実施する。							始期	2024		
										終期	2029		
	K P I	南予主要観光施設への入込客数											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	7185 千人	目標値	7383 千人	目標値	7737 千人	目標値	8033 千人		
		実績値	千人	実績値	7021 千人	実績値	7065 千人	実績値	千人	実績値	千人		
		ストック/フロー	フロー	達成率	97.7 %	達成率	95.7 %	達成率	%	達成率	%		
		コスト	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	20,000 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額
	決算額		決算額	千円	決算額	20,000 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
	6年度	要因分析	<p>要因 物価高騰による旅行コストの増加が進み、旅行需要が想定より伸び悩んだ可能性がある。</p> <p>総括</p>										
			見直し方向性	維持	2024年度は目標値を下回っているものの、2025年度に誘客・送客キャンペーンを実施することとしており、県外等からの誘客に期待できるため、予算の見直しは想定していない。								

14	9月補正	事項	大阪・関西万博愛媛魅力発信事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要		令和7年に開催される大阪・関西万博会場内の催事施設において、愛媛県のブースを出展することで、愛媛の魅力を効果的かつ効率的にPRし、本県の認知度向上と誘客促進を図る。							始期	2024		
										終期	2025		
	K P I	ブース出展のための準備率											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度			
			R 4 年 度	目標値	%	目標値	40 %	目標値	100 %	目標値	%		
		実績値	- %	実績値	%	実績値	40 %	実績値	%	実績値	%		
		ストック/フロー	ストック	達成率	%	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%		
		コスト	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	4,478 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額
	決算額		決算額	千円	決算額	4,326 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円	
	6年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括</p>										
			見直し方向性	維持	6年度の経過指標は想定通りで、出展に向けての準備は順調に進めていることから、7年度の見直しは想定していない。								

15	当初	事項	松山空港地域活性化基盤施設整備事業費							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	松山空港と周辺地域の調和ある発展を図るため、生活基盤施設の整備に要する経費に対して補助する。								始期	1993		
										終期			
	KPI	空港周辺地域の人口											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度			
			R 4 年度	目標値	30556 人	目標値	30556 人	目標値	30556 人	目標値	30556 人		
		実績値	30556 人	実績値	30369 人	実績値	30206 人	実績値	人	実績値	人		
		ストック/フロー	フロー	達成率	99.4 %	達成率	98.9 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	100,000 千円	最終現計	予算額	100,000 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	61,776 千円	決算額	79,654 千円	決算額	千円	決算額	千円			
	6年度	要因分析	<p>要因 令和6年度から7年度にかけての松山市全域の人口減少率が約△0.71%だったのに対し、周辺地域の人口減少率が約△0.54%であり、目標値を達成することはできなかったが、松山市全域の人口減少の影響を受けながらも、空港周辺地域の人口維持に一定の効果があったと考えられる。</p> <p>総括</p>										
		見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果が出ており、KPIの向上の余地もあることから執行方法の見直しは想定していない。									

16	当初	事項	空港整備直轄事業負担金							予算主管課	観光国際課		
	事業概要	松山空港整備の当該年度事業費に対して負担する。								始期	1983		
										終期			
	KPI	松山空港の就航率											
		KPI種別	上がるの良い指標	R 5 年度		R 6 年度		R 7 年度		R 8 年度			
			R 4 年度	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %		
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%		
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%		
	コスト	最終現計	予算額	160,020 千円	最終現計	予算額	597,600 千円	最終現計	予算額	千円	最終現計	予算額	千円
		決算額	決算額	106,957 千円	決算額	582,682 千円	決算額	千円	決算額	千円			
	6年度	要因分析	<p>要因</p> <p>総括</p>										
		見直し方向性	維持	年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、7年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、7年度の執行方法や8年度予算の見直しは想定していない。									

17	2月補正	事項	空港周辺住宅騒音防止対策費							予算主管課	観光国際課
		事業概要	松山空港周辺地域で、騒音防止対策事業として実施する住宅防音工事、空気調和機器の更新工事に要する経費を補助する。							始期	1975
	終期										
	K P I	本事業による住宅騒音防止対策完了率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
			R 4 年 度	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	%
		実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	100 %	実績値	%	実績値	%
		ストック/フロー	フロー	達成率	100 %	達成率	100 %	達成率	%	達成率	%
		コ ス ト		最終見直し 予算額	2,359 千円	最終見直し 予算額	1,915 千円	最終見直し 予算額	千円	最終見直し 予算額	千円
			決算額	967 千円	決算額	1,058 千円	決算額	千円	決算額	千円	
	6 年 度	要因分析	要因								
			総括								
		見直し方向性	維持	6年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、KPIの向上の余地もあることから執行方法の見直しは想定していない。							